

信州大学社会実装研究クラスター次世代空モビリティシステム研究拠点と下諏訪町との
連携に関する協定書

信州大学社会実装研究クラスター次世代空モビリティシステム研究拠点（以下「甲」という。）と下諏訪町（以下「乙」という。）は、教育・研究開発の分野において協力、連携し、より一層の相互発展を図るため、次のとおり協定を締結する。

（目的）

第1条 この協定は、甲と乙が、研究開発及び高度技術者育成等の活動による地域活性化を目的として、教育並びに人材育成、研究開発、新事業の創生及び人材交流等の分野で相互に協力し、教育・研究の振興と地域活性化に寄与することとする。

（連携事項）

第2条 甲と乙は、次に掲げる事項について協力し、連携するものとする。

- (1) 教育及び人材育成に関すること
- (2) 研究・開発に関すること
- (3) 関連産業の育成及び地域貢献に関すること
- (4) 合意した研究テーマを共同で推進すること
- (5) その他甲と乙が必要と認める事項

（連携協議会）

第3条 前条に掲げる事項の円滑な推進を図るため、連携協議会を設置するものとする。

（有効期間）

第4条 この協定は、2026年4月1日から発効し、有効期間は3年間とする。ただし、その間の連携・協力内容の評価を行い、両者の合意により更新することができる。

（協議）

第5条 この協定に定める事項について疑義が生じたとき、又はこの協定に定めのない事項について定める必要があるときは、甲、乙が協議して決定するものとする。

この協定の締結を証するため、本書を2通作成し、甲、乙記名押印の上、各自その1通を保管するものとする。

2026年 4月 1日

甲 長野県長野市若里4-17-1
信州大学社会実装研究クラスター
次世代空モビリティシステム研究拠点長
松原 雅春



乙 長野県諏訪郡下諏訪町4-6-13-8
下諏訪町長 宮坂 徹

